

経営比較分析表（令和5年度決算）

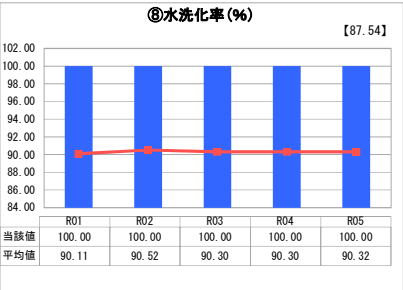
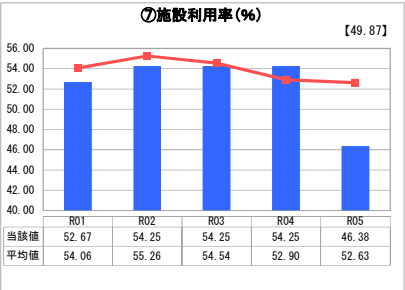
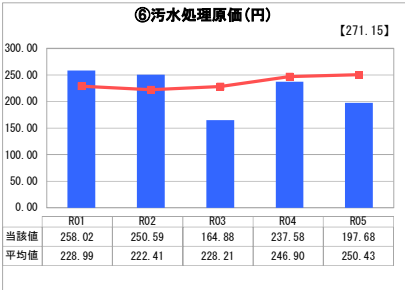
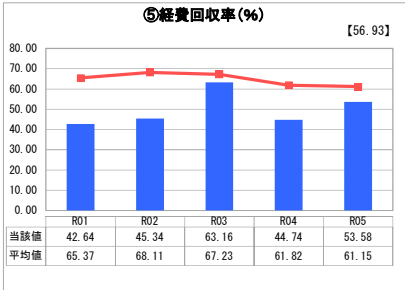
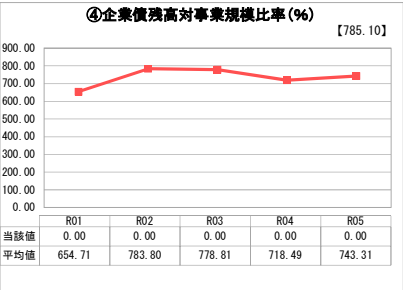
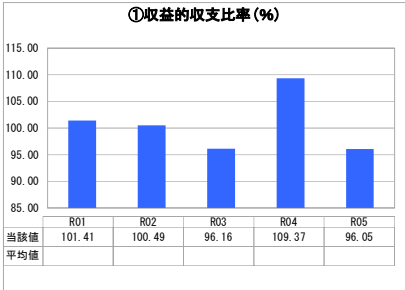
埼玉県 越生町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	9.74	99.54	1,925

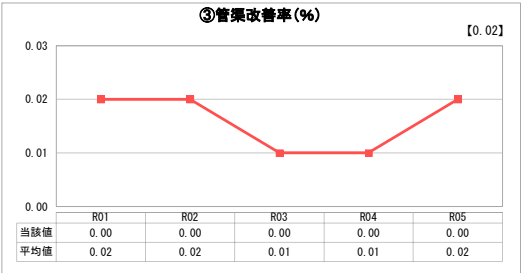
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
10,863	40.39	268.95
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,052	1.24	848.39

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益の収支比率
地方公営企業法の適用に伴う会計制度等の変更により、令和5年度決算については令和6年3月31日時点で打ち切り決算とした。このことから特例的未収金・未払金が発生したため100%を下回った。

⑤経費回収率
類似団体平均値を大きく下回っていることから、今後、使用料の改定を検討するなどして使用料収入の改善を図ることが喫緊の課題となる。また、処理施設等の老朽化も顕著であり計画的な改修・修繕も含めて総体的に進めていく必要がある。

⑥汚水処理原価
処理施設の修繕等にかかる経費の増加が見込まれることから、今後も効果的かつ効率的な処理施設の更新や維持管理費の削減に努める必要がある。

⑦施設利用率
処理施設の老朽化による処理能力の低下が著しいことから、施設の統廃合を視野に入れ、適切な維持管理を図る。

2. 老朽化の状況について

処理施設をはじめ、各設備についても老朽化が著しいことから計画的な更新を検討する必要がある。また加入世帯の減少等により7つある処理施設の効率的な運用を視野に入れ、施設の統廃合の検討を進める時期に来ていると考えられる。

全体総括

令和5年度は、打ち切り決算に起因して前年度と比べて各指標の数値にバラつきがあった。
経営の健全性・効率性については、特例的未収金・未払金を含めて総体的に見たとしても顕著な改善には至っておらず、一般会計からの繰入金に大きく依存していることから、収支のバランスを考慮した計画的な経営改善が必要である。
老朽化の状況については、処理施設や管路の計画的な更新もさることながら、処理区域人口に見合った処理施設の運用を念頭に統廃合の検討も併せて進めていき、包括的に安定した運営ができるよう努める必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。